



マイロード

第474回
2020年8月16日

主催/新日本スポーツ連盟横浜市連盟・よこはま月例マラソン運営委員会



【7月の小学生以下の部スタート】

よこはま月例マラソン再開！

新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、3月(第469回)から中止が続いていましたが、7月(第473回)に5か月ぶりの再開となりました。すでに月例湘南マラソンは6月7日に再開し、感染症対策として、従来の一斉スタートではなく、一人ひとりの「パラパラスタート」で実施しました。よこはま月例も湘南の経験を生かして、「パラパラ」方式で実施しました。スタートとゴールは別々のバーコードリーダーを設置し、参加者が自分のバーコードをかざして読み取る方式に戸惑うランナーもいましたが、大きな混乱もなく無事に終了しました。

8月は、猛暑が予想される中での開催となります。走る前に十分給水を取り、体に変調がある場合は参加しないようにお願いします。WBGTの指数にもよりますが、中止も選択の一つです。コロナ感染症対策のために、マスクの着用をお願いします。ランニングは、前に2m、後ろに10m飛散するといわれています。一般の通行人から苦情が寄せられています。一人ひとりの対策が一番！無理せず、安全に、健康のための月例マラソンです。

＜感染防止及び安全対策について＞

1. 新型コロナウイルス感染症拡大を避けるために
①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い(アルコール等の消毒)や3密(密集、密接、密閉)を避けることを基本に運営を行う。
2. 受付について、人との間隔、マスク、消毒を徹底し、バーコードの読み取りによって受付を完了、参加費は手渡しとなる(今後、プリペイドカード等の検討)がお釣りのないよう準備を求める。
3. 安全対策(運営方法)について
(1) 初参加の受付は原則行わない
(2) 種目について 1km2回、5km、3kmとする。
(3) スタート及びコースについて ①一斉スタートではなく、一人ずつバラバラにスタートし、ネットタイム集計により記録を発表する。②パラパラスタートにより、コースにランナーが密集することを避ける。③一人一人が安全の意識をもって、左側通行を徹底する。④現在の警備員の配置を変更する。⑤カラーコーンをスタート地点から、左側通行を徹底できるように並べる。
(4) 参加条件について ①体調不良の場合、過去14日以内に海外渡航又は海外在住者との濃厚接触がある場合は参加しないこと。②当日の朝自宅で検温を行うこと。37.5℃以上の発熱を伴う風邪の症状がある場合は参加できません。③参加者はマスク等着用のこと、ただしランニング中は通行人等と至近距離に接近しない限り熱中症防止を考慮して自己判断で外しても良いものとする。3才未満はマスク不要。④大きな声で会話、応援等をしないこと。レース後は密集せずにすぐに撤収して下さい。⑤月例終了後2週間以内に新型コロナを発症した場合は、速やかに報告すること。(運営委員会より)

【スタート時間について】熱中症予防対策として、現地の温度計測及びWBGTの指数により、走れる種目を判断します。WBGTが28以上の場合10km、5kmは中止します。1km(小学生以下の部含む)と3kmのみ実施となります。

毎月第3日曜日・午前8時30分スタート	
種目	1km 3km 5km 10km 20km (20kmは6～9月お休み)
受付時間	現地にて午前7時50分から10時まで受付。＜棄権の受付も10時までです＞
スタート	1km-小学生以下/8:30 1km-A/8:40 1km-B/8:50 1km-C/9:00 5km/9:15 20km/9:50 10km/9:55 3km/10:05 (スタート時間はあくまで目安です)
参加費	初参加は1500円 (2回目から大人1000円・高校生以下は500円)
記録表彰	希望者に記録証(速報を掲示)翌月掲示版にて発表 ホームページにて全記録を発表します
連続賞	10, 20, 30, 50, 75, 100回 (通算は20回, 80回)

＜ボランティア募集＞①ランナーの立場に立ってサポートできる。②毎月第3日曜日に参加できる。この二点が条件です。参加された場合、交通費として、3,000円をお支払します。受付まで。

次回は第475回 2020年9月20日



新日本スポーツ連盟

横浜市連盟

〒221-0045横浜市神奈川区神奈川2-14-16トーリックビル3F
TEL045-534-5553 FAX045-534-5554

*** 今月の表彰 ***

*連続100回参加賞 月例年間パス

No. 8635 後藤 憲仁(41)
No. 9494 三村 昇二(51)

*連続75回参加賞 別製ランニング

No. 3194 窪倉 隆(70)
No. 13488 佐藤 舞(9)
No. 13499 五野上 牧(54)
No. 13578 小野 利幸(56)

*連続50回参加賞 選択制

No. 7141 村山 彰一(66)
No. 16884 宮下 直也(49)
No. 16958 春日奈津美(36)
No. 16959 春日 敦史(36)

*連続30回参加賞 選択制

No. 10137 伊藤 平(70)
No. 18666 森田 直希(46)

*連続20回参加賞 選択制

No. 20135 木村真知子(59)
No. 20719 渡辺 裕明(45)
No. 20753 久木 陽斗(5)
No. 20756 仙波 義隆(48)

*連続10回参加賞 ランニング

No. 9625 川崎 哲哉(59)
No. 19169 佐藤 結芽(8)
No. 20816 坂口 淳(65)
No. 21687 長井真比古(63)
No. 21688 岩崎 治子(55)
No. 21979 村越 颯馬(20)
No. 22000 渡部 翔成(6)

No. 22005 福井 誠(58)
No. 22007 小田嶋純市(50)
No. 22041 吉井亜紀彦(49)
No. 22049 貝川美穂子(41)
No. 22050 貝川 翼(11)
No. 22051 貝川 隼(8)
No. 22068 青柳 正幸(58)

*通算20回参加賞 ランニング

No. 4238 徳永美奈子(52)
No. 9596 阿由葉房子(61)
No. 16918 四家 優香(43)

*通算80回参加賞 選択制

No. 8096 小林 建介(71)
No. 3207 高田 英憲(44)

(敬称略)

連続と通算は重複しません。

再開！神奈川の月例マラソン

(ランナーズ編集部からの原稿依頼による)



7月のよこはま月例スタートの様子

新型コロナの感染拡大で3月を中止した月例湘南マラソンは、その後の緊急事態宣言で4月も5月も開催できず、藤沢市にある事務所の家賃が払えなくなっていました。恐る恐る大家さんにお願ひに行くと、快く延納を許してくれました。40年も月例マラソンを続けてきた信頼関係のおかげ？ 宣言解除後、藤沢市に公園使用許可を確認して6月7日に大会を再開しました。感染対策で一番気になったのがランナーのマスク着用です。占有コースではないので、通行人に2m以内に接近する場合はマスク着用を参加条件にしました。そしてピストルによる一斉スタートではなく、ひとり一人の「パラパラスタート」を実施しました。スタートタイムとゴールタイムとの差を計算して記録発表する初めての方式にチャレンジしました。当日のランナー参加者はいつもの半分で200名でしたが、久々のランニング大会で笑顔にあふれていました。

7月は5か月ぶりによこはま月例マラソンが再開しました。湘南での経験を活かしつつ、スタートとゴールは別々のバーコードリーダーを設置しました。自分のバーコードをかざして読み取る方式に最初は戸惑っているランナーもいましたが、全員ネットタイムで記録発表するのでランナーには意外と好評でした。参加者は約700名と半分以下でしたが、横浜市の公園使用許可がギリギリで開催3日前にホーム



ゴールでのバーコード読み取り

ページで知らせた割には多くのランナーが集まりました。役所からは感染症対策をはじめ、公園を使用する人数制限など色々な注文がきました。ランナーや大会役員の対応だけでなく、地域住民・通行人に不安を与えない運営が求められます。8月からは月例川崎マラソンが再開します。昨年の台風被害で多摩川ランニングコースが使えなくなり、半地下の事務所が水没する等の被害からやっと立ち上がります。ランナーズ賞をいただいた月例マラソンの灯を消さないように、パラパラスタートに磨きをかけてランナーの皆さんと共にコロナを乗り越えて行きたいと思います。



【写真上はスタート、写真中は受付での検温の様子・写真下は筆者】

神奈川県ランニングセンター事務局長
(よこはま月例マラソン副会長)佐藤好行

【編集後記】猛暑と自粛の休日は、ひんやりした部屋でのんびり映画でも観るのがいい。“安政遠足侍”(あんせいとおあしさむらい)にちなんだ(サムライマラソン)を見つけた。事実、165年も前に、安中藩主が藩士の鍛錬の為、約30キロ高低差1000m以上の碓氷峠まで徒歩競争。順位やタイムは重要視されてなく、ゴールした者に餅などが振る舞われたとの事、日本マラソンの発祥の碑もあります。安中市主催のマラソン大会は5月第二日曜(月例と重ならない!) 来年は開催される世の中になっていますように!(尚)